



特集：市民後見人と対談

平成24年 3月14日
後見センター相談室にて

イラストの説明



マイク：後見センターふえふきの職員から質問（センター職員）



*：センター職員のコメント

女性：市民後見人（出ッ所さん、清水さん）の返答



市民後見人養成講座を受講しようと思ったきっかけは？



出ッ所さん：ボランティア活動を通じ、精神障がい者へ後見制度の情報提供ができれば良いな～と思って・・・

清水さん：高齢者が好きなので、何か支援できることがあるかな～と思っていたら、広報にお知らせが・・・

*しっかり目的意識を持っているから、行動に移せたんですね。



養成講座を受講中に感じていたことは？



出ッ所さん：なんで専門家の難しいことを市民がやるの～？

清水さん：財産をどうのこうのって、後見人・・・怖～い

*講座では、皆さんを怖がらせてしまったようですね（笑）



市民後見人の候補者として、誘われたときはどんな気持ちでしたか？



出ッ所さん：えっ～私が～！・・・不安もあったが、社協が後見監督人としてサポートする体制を知り受けてみたが、裁判所から選任されおっかなびっくりスタート

清水さん：一人で受けるのはちょっと不安もあり、社協と複数後見を選択、裁判所から複数後見の選任を受けスタート

*市民後見人をしっかりサポートできるように、センター職員もしっかりせねば・・・



裁判所へ行った感想は？



出ッ所さん：書記官、調査官ってなんだか怖～いイメージ・・・
ところが実際会って話をしてみたら、とっても親切丁寧
でビックリ！裁判所のイメージが変わった（笑）
清 水さん：申立の調書、緊張～怖～い・・・申立人、センター職
員も緒だったのにね～（笑）

*センター職員も当初、こんなこと聞いても良いかな？って、電話するのが怖
かったんですよ～笑



審判書が届いた時の感想は？



出ッ所さん：裁判所の名前が無く差出人の名前を見て、「この人
誰かな～？」・・・
清 水さん：裁判所の名前が入った封筒が届き、「あらっ、いよ
いよ、あれは本当だったんだね。」裁判所からの郵便
物で、「郵便屋さんは何て思ったかしら？」（笑）

*裁判所名が無く届いた書類は、事務報告提出のお知らせかな？郵便物から、
いろいろ想像が膨らんで・・・振り返ると面白いですね（笑）



実際に、後見活動を始めてみての感想は？



出ッ所さん：一年間活動を通して大体の流れが分かった。今年は、
ドキッとしなくて済むと良いな～♪
清 水さん：金融機関の手続きが、大変・・・本人家族との関係も
徐々に築けてきたように感じている。会いに行くのが楽
しみ！

*センター職員も、一緒に活動している仲間や話せる人が居るとホッとします。



市民後見人として不安を感じることは？



出ッ所さん：本人の揺れる気持ちを待つこと、いつまで待てば・・・
一緒に買い物など、後見人の本来業務を越える活動は、
どこで線を引けばよいのか迷ってしまう。
清 水さん：家族が本人の手続きを行っていることもあり、急に引
き継ぐことになったら、どうしたら良いか・・・

*他の支援者からも助言をいただき、抱え込まない活動を合言葉に・・・♪



市民後見人の醍醐味とは？



出ッ所さん：日常生活の目線で本人と話し、地域で暮らす喜びを一緒に共有できること。

清 水さん：活動を通して、小さな気づきから要介護高齢者の生活の質が向上するように関われること。

*二人して、日常生活の気づきは、市民後見人の得意技♪

*う～ん、さすが市民ならではの視点ですね。センター職員も社協のネットワークを活かしていろんな引出を用意できるように頑張ります♪



今後の夢や希望は何ですか？



出ッ所さん：障がいがある方の安心は、障がいがない方も皆が安心する社会、偏見のない地域社会を！

清 水さん：本人の希望を支援者が最初から無理と決めずに、皆で知恵を出し合い実現できたら嬉しい。

*センター職員も、一つでも多く本人の「自己実現」に向けて、失敗を恐れず創意工夫しながら皆さんと取り組み、一緒に喜びを共有したいと思っています。



ティータイムあれこれ・・・



財産管理、裁判所へ報告などなど、「何だか怖～い」って感じるのは・・・



知らないことは、「怖～い」って感じるんだね。
後見人が必要な方も、地域の方々も、よく分からないから「怖～い」って感じているのかもね。

